G02 マルセル・プルースト研究 —大衆芸術からのアプローチ—

基礎教育センター・総合教育教室・教授・岩野　佳英子
kaeko@aitech.ac.jp

キーワード　現代フランス文学、ヨーロッパ表象文化、ジェンダー理論

概要

マルセル・プルースト（1871-1922）は大衆芸術に強く関心を抱いていて、小説『失われた時を求めて』にも多く言及されている。それにもかかわらず、この分野の先行研究は遅れている。研究では大衆芸術のなかでも、とりわけオペレッタに注目する。オペレッタは 19 世紀後半に、オッフェンバックによって誕生した。まさにプルーストの生きた時代のことである。ダビッド・リッサンは、大衆芸術における笑いの特徴は「パロディ」であり、オッフェンバックはパロディを通して社会の風刺を巧みに表現していることを指摘する(*Offenbach ou le rire en musique*, Fayard, 1980)。

本研究はプルーストにおける「笑い」「パロディ」「イロニー」「社会批判」といったモチーフに、大衆芸術を介してアプローチすることであり、世紀転換期における時代的背景の研究である。また領域横断型の学際的な視野を持った幅広い研究でもある。

研究のやり方としては、フランス国立図書館の電子テクストサ イト Gallica において、Fonds Marcel Proust（マルセル・プルースト・コレクション）を活用するとともに、4 冊の「カルネ」と呼ばれる創作手帳、75 冊の「カイ エ」（小説執筆のための原稿帳）、20 冊の清書用原稿ノートをはじめ、タイプ原稿や校正 刷りなどのファクシミレ版をウェブ上で参照する。

セールスポイント

1．領域横断的な研究
2．資料の有効活用
3．独創性

企業等での活用例、今後の展望等

1．他分野の研究との連携
2．電子テクスト等、新しい技術の有効利用
3．新たな文学研究の可能性模索

参考資料

1．≪Proust et les opérettes d'Offenbach – Autour de *M. Choufleury restera chez lui le 24 janvier* – ≫, *Marcel Proust Aujourd'hui*, Brill, 2022.

2．«Proust et Offenbach —Autour de *La Belle Hélène*— » in *LITTERA*, Société Japonaise de Langue et Littérature Françaises, 2021.

3．『「失われた時を求めて」と女性たち— サロン・芸術・セクシュアリティ—』彩流社（単著）2016 年 3 月